

災害への備え できてますか？



▲赤十字奉仕団による毛布を用いた搬送訓練



▲西伊豆町からの応援物資搬入訓練



▲防災備蓄倉庫の確認



▲消防団による消火栓の確認と放水方法の説明

いざ避難…すぐに行動できますか？

いざ、災害が発生したとき、どこに逃げますか？すぐに持ち出せる備蓄はありますか？地震が起きてタンスなどの下敷きになる可能性はありませんか？

災害では、一つの行動、少しの時間が命の危険に繋がります。災害が発生してから行動しても出来ることは限られています。万が一に備えた「日頃からの備え」がいざというときの役に立ちます。備えることは、「物」だけではなく、「知識」や「意識」も大切です。

家具の固定、備蓄の確認、避難場所・避難経路の確認、家族での安否確認手段の取り決めなどは、すぐにできる「備え」です。普段から定期的な確認を行いましょう。



旧市川保育所で県警救助訓練

県警では、解体予定の旧市川保育所で救助訓練を実施しました。

南海トラフ巨大地震が発生し、アパートの1階2階にそれぞれ取り残された要救助者の救出と保育所からの園児の避難誘導訓練を行いました。

ヘリコプターの「はやて」や、白バイ、パトカーのほか、機動隊員や航空隊員など約40名と市川富士見保育所園児23名が訓練に参加しました。

1階の要救助者は、ドリルやチェーンソーで壁に穴を開け進入口を確保して救出し、2階は、はしごを使い進入し、ロープを使い建物の屋根から地上へ救出する訓練を行いました。園児は、防災ずきんをかぶり、警察の方の誘導で敷地から避難する訓練を行いました。

県警は「実践的な訓練で、救助救出の流れを確認し、大災害に備え、更なる技術向上に努めたい」と話していました。



▲ロープを使い2階から要救助者に見立てた人形を救出する機動隊

▼壁に開けた進入口から進入し要救助者の安否を確認する機動隊



▼防災ずきんをかぶり保育所から避難する園児



町内各地で防災訓練が実施されました

9月1日は「防災の日」。これに併せ9月2日(日)、駿河トラフから南海トラフにかけてマグニチュード8・0、最大震度6強の巨大地震が発生したことを想定した町総合防災訓練を実施しました。

当日は、町内各地で、安否確認・避難誘導・避難状況報告・炊き出し・消防団の指導による消火栓の開閉や器具の確認・バケツリレーによる初期消火(表紙の写真)・姉妹町西伊豆町からの応援物資搬入訓練・シェイクアウト訓練・赤十字奉仕団による応急救護訓練など様々な訓練が実施されました。

災害への備えは、自分や家族の安全は自ら守る「自助」、地域の安全は地域で守る「共助」が非常に重要です。

今回の防災訓練を機に、改めて防災意識を高め、災害に備えましょう。

「自主防災組織」に参加しましょう！

防災対策は、「自助」・「共助」・「公助」が上手く連携を保つことで、より効果を発揮することができます。

災害が大きくなるほど、被災者数は膨大になり、情報は混乱し、道路や橋梁等の公共施設が被害を受けるため、発災直後に公的機関が全ての地域に対して公助活動を行うことは困難です。

このため、防災活動・災害対応において、「共助」はとても重要であり、その要となるのが、自主防災組織です。

自主防災組織とは

「自分たちの地域は自分たちで守る」という基本的な考えに立ち、日頃から意識をもって地域の安全を考え自主的に活動する組織です。区または組が基本として位置付けられています。

自主防災組織の活動

自主防災組織の活動には、災害に備えて被害の発生や拡大を未然に防止するため、日常行う「平常時の活動」と、災害が発生した後に地域内で被害の発生や拡大を防止するために「災害時の活動」があります。

自主防災組織

平常時の活動

地域内の安全点検、住民への防災知識の普及・啓発、防災訓練の実施など

災害発生時の活動

安否確認、情報収集、被災者の救出・救助、初期消火活動、避難所の運営など

地域のより良いコミュニティづくりを推進するとともに、地域の防災力を高め、安全で住みやすい地域づくりを進めていくため、自主防災組織はとても重要です。また、自主防災組織の活動を円滑に行うために、組織の体系や役割分担などを明確にした規約や組織表などを作成しましょう！

岡町防災課

☎ 055-272-1175



遊戯室

①



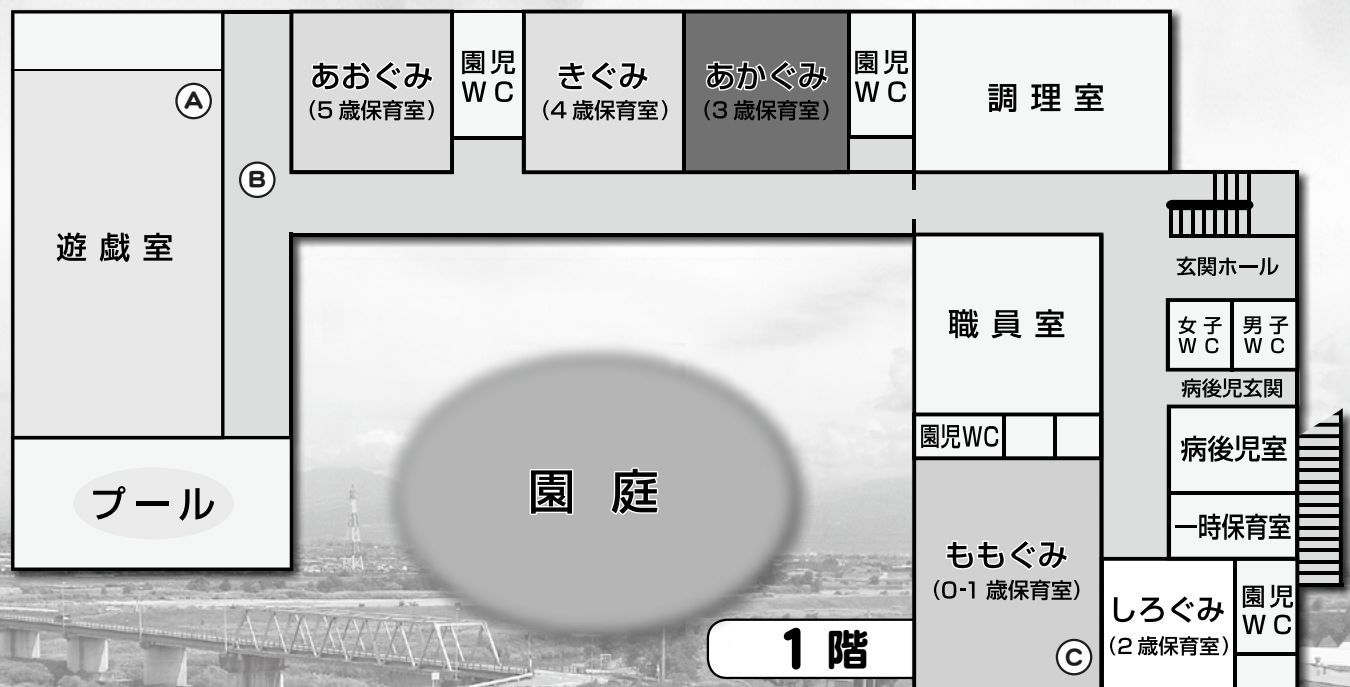
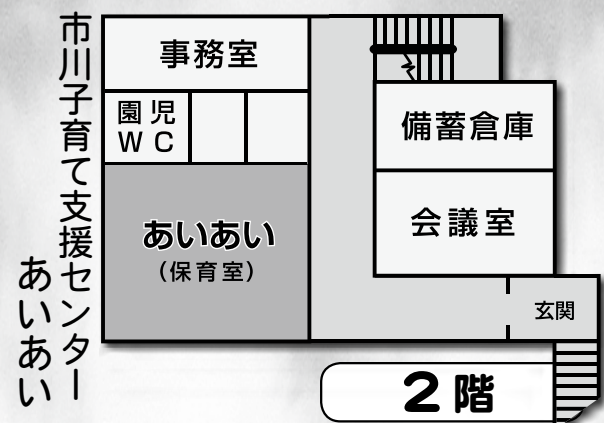
廊下

②



保育室

③



園児による和太鼓演奏



市川高校音楽部による園歌の披露



市川保育所と富士見保育所を統合した「市川富士見保育所」が開園しました。

8月17日には、開園式が開催され、市川高校音楽部が作詞・作曲を行った園歌の披露や園児による和太鼓演奏、保護者会やミニバスケットボール協会から記念品の贈呈が行われました。

8月28日には、市川子育て支援センター「あいあい」(市川富士見保育所2階)でオープン記念イベントが開催され、手遊び・からだ遊びや記念キーホルダー作製などが行われました。

新園舎の敷地面積は、7,711㎡で、これまでの市川、富士見両保育所を合計した面積の2.7倍となり、園児が伸び伸びと遊ぶことができる広い園庭と送迎しやすい広い駐車場を備えました。

園舎は防災・減災を考慮した、鉄筋コンクリート造りで一部に太陽光発電設備を備え、自然採光や通風、空調方式、断熱材によるランニングコストの軽減等を考慮した環境に優しい施設整備に努め、快適で安全・安心な保育を行える施設としました。

市川富士見保育所 開園しました



園児・久保町長・依田所長によるくす玉割り



基本的な手話を覚えよう 連載 vol.32

今回は「さんま」、「コンビニ」と都道府県の「東京」を紹介します

「さんま」



左手の手のひらを自分に向け、その上下に右手親指、人さし指を開きます。

「コンビニ」



左手は2、右手は4の形を作り、時計回りに円を描きます。(24時間営業を表現)



東京

両手を指文字の「レ」の形にさせ、上に2回あげます。※1回だと『東』太陽が昇るのが『東』なのでその方角を表していることと『東』の都は東京だからという表現です。



岡町福祉支援課福祉係 ☎ 055-272-1106 (272) 1106

そのブロック塀安全ですか？ ブロック塀等撤去改修助成制度受付中

町では、地震等によるブロック塀等の倒壊又は転倒を防止するため、下記に該当する塀及び門柱を撤去・改修する費用の一部を助成します。

※工事開始後、契約締結後の申請は受付できません。必ず事前にご相談下さい。

※助成金交付は、1つの敷地につき1回限りです。助成金に関する詳細はお問い合わせ下さい。

【問い合わせ・申し込み】

町まちづくり推進課都市計画係

☎ 055-272-1136

【対象者】

- ・町内にあるブロック塀等の所有者で、ブロック塀等の撤去や改修を行う方
- ・町税等の滞納がなく、ブロック塀等に対して、他の助成や補償を受けていない方

【対象の撤去工事】

- ・高さが60cm以上のブロック塀等の撤去工事
- ・一部撤去の場合、撤去後の高さが60cm以下になる撤去工事

【対象の改修工事】

- ・撤去後に新たなブロック塀等を設置する場合、高さ60cm以下とし、超える場合は安全なフェンス等に改修する工事
- ・改修により生垣を設置する場合、延長1m当たり3本以上連続して植樹する工事

トレイルラン 35km
トレイルラン 16km
トレイルラン&ウォーク 8km

第6回 市川三郷

四尾連稜線
トレイルラン
2018 10.21 (日)

岡町生涯学習課 ☎ 055-272-6094
大会事務局 (スポーツエイド・ジャパン)
☎ 049-294-5603

第6回市川三郷四尾連稜線トレイルランを10月21日(日)に開催します。当日は3つのコースが用意されており、県内外から約750名のランナーが参加し、山梨中央銀行市川支店前をスタートします。



トレイルラン&ウォーク 3つのコース

- 【35km】山梨中央銀行市川支店前～中央通り～大門碑林公園～四尾連峠～四尾連湖畔～大島山分岐～蛾ヶ岳～八坂峠～下芦川～県道36号線～たいら山～桜峠～上野地区～中央通り～山梨中央銀行市川支店 [制限時間：8時間30分]
- 【16km】山梨中央銀行市川支店前～中央通り～大門碑林公園～四尾連峠～四尾連湖畔～四尾連峠～大島山～大門碑林公園～中央通り～山梨中央銀行市川支店 [制限時間：5時間]
- 【8km】山梨中央銀行市川支店前～中央通り～大門碑林公園～四尾連峠～四尾連湖畔 [制限時間：4時間]

山梨中央銀行
市川支店前スタート
35kmの部 8:30 スタート
16km、8kmの部
9:30 スタート

トレイルランの参加申し込みの受付は終了しています。

第8回 市川三郷町 消防団ポンプ操法訓練大会

平成30年10月28日(日) (荒天時11月11日(日))

午前9時30分から 開会式は午前9時から 小雨決行
三珠農村広場

ぜひ、この機会に日頃から錬成された消防団員の勇姿をご覧ください！また、地域の防火・防災活動に日々努めている消防団員の士気高揚のため声援をお願いします。お気軽にお越し下さい。

～忘れてない？ サイフにスマホに火の確認～